

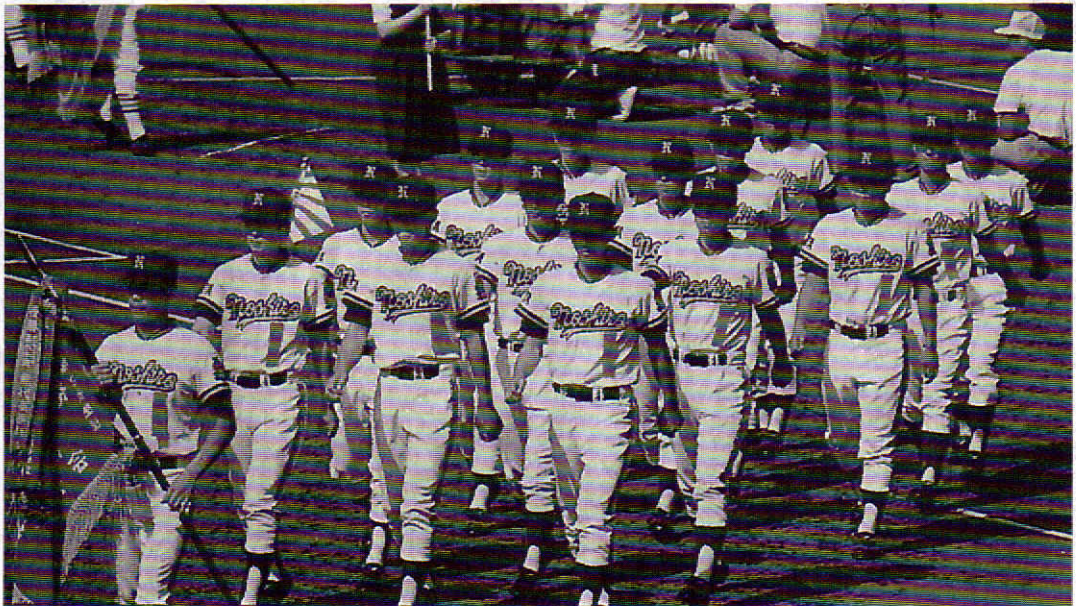
平成4年



秋田県立
能代高校
東京同窓会

会報

No. 6
事務局
〒164
東京都中野区中央5-7-1
株友和
TEL.03-3383-2111



校歌

文学博士 藤村 作詩
東京音楽学校教授 岡野貞一作曲

一、そのかみはくわ城濶く

尽きせぬ流水米代の

水に我等の聲はー

若く生命く讃へ

若く生命く讃へ

二、み空にひびく日本海

沖より寄す巨濤の

巖つんぞく勢に

強き力を学び

強き力を学び

三、平和の相樽子山

常盤の緑旭日に

映えて我等の麗はー

清き操をたぐへ

清き操をたぐへ

四、薫り高き学び舎の

象徴をかかげひたすらに

学びの道く究めや

奮へ松陵我が健児

奮へ松陵我が健児

平成四年能代高校東京同窓会総会開催

平成四年十月二日・午後五時
於・茗 溪 会 館

第一部 講演会
第二部 総 会
第三部 懇親会

●講演者紹介●

小林 肇氏

今日はお忙しい中をお集まり頂きましてありがとうございます。恒例の同窓会総会で第一部が講演会、第二部が総会の議事、第三部が懇親会となっております。

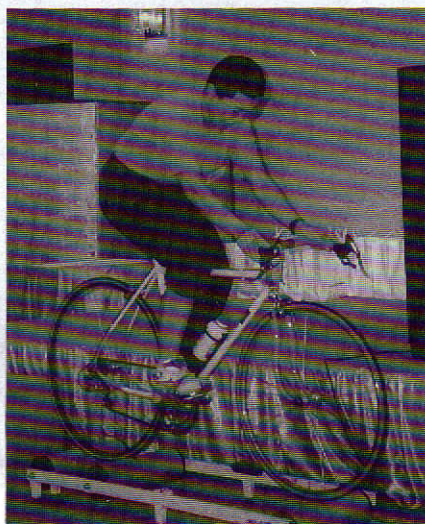
第一部の講演会ですが、今日はみなさんすでにご存知の新制三期卒業の鈴木裕美子さんをお願いいたしております。彼女はこの度バルセロナ・オリンピックの自転車ロードレース競技に参加しまして、過酷な競技にもかかわらず実力を存分に発揮してまいりました。彼女は非常に熱心な方で、私どもが彼女を知ってから何年もの間、この自転車競技一筋に打ち込んで来ております。日本ではあまり陽の目を見ない自転車競技に、情熱を注ぎ研鑽を積み重ねてきたわけですが、今回見事にオリンピックの代表としての栄誉を勝ち取られました。

そのことについて、あまり時間もありませんので簡単に、成績云々ではなく、バルセロナ・オリンピックへ出場したこと、そこに至るまで数々の努力をしてきたことについてご披露して頂きたいと、無理なお願いをいたしましたところ、快くお引き受けくださいました。どうぞみなさん、この後彼女の体験と努力の一こまをご静聴頂ければありがたいと思います。それでは鈴木さん、よろしくお願いいたします。

第一部 講演会

南欧の炎天下を銀輪で疾駆して

バルセロナ・オリンピック自転車競技選手
鈴木裕美子さん 新制三期



みなさん今晩は、鈴木裕美子です。高い所からたいへん失礼ですが、少しの間お時間を頂きます。お時間は十五分ほどということ、講演会などと申されましても、私は専門が自転車の競技選手です。走ることはこの十数年間ほとんど毎日やってまいりましたので、自転車をこぐのは苦もなくやれるのですが、口を動かして話すのは非常に不得手で、みなさまのお耳さわりになるかもしれません、なにとぞよろしくお願いいたします。

まず最初に、今回のオリンピック出場に際しまして、すぐさまこの会の事務局を始めみなさんから多大なお祝いと支援を頂きましたこと、また、帰ってからもこのようにすばらしい報告のチャンスを頂きましたこと、また長い間応援を続けて頂きましたこと、これからもよろしくという気持ちも込めまして、本当にありがとうございます。

バルセロナについて一言ということですが、オリンピックでの成績は五十位で、一応着に入れたのは本当に幸いでしたが、同時に世界の壁の厚さをいやというほど思い知らされてまいりました。一口に言いますと、オリンピックというのは、各国のすべての競技の一流選手が集まる一種のお祭です。バルセロナという街に関する情報は、選手村の中にあるかぎりではわかりにくいところもありましたが、とても暑い所だったということ、お祭の雰囲気はみなさんテレビなどでご覧になったかと思いますが、私にとっては夢のような場所であり、楽しく二週間ほど過ごさせて頂きました。レースのほうは先ほど申し上げました通り、自分の無力というか世界の実力を思い知らされました。もし年をとって余裕があれば、もう一度バルセロナを訪れてゆつくり心落ち着けて街の中を見て回りたい気がします。あるいは、ここではこんなレースがあったなと思いをたどるチャンスがあればいいなと思っております。

オリンピック選手になれた経験を今後どう生かすか。自転車競技を始めてから十二年ほどになりますが、まだまだ自転車競技に携わる者